

🗨️ これまでの検討会でいただいたまちなみ整備に関する主なご意見

《まちなみ整備全体について》

- ・ 駅から美術館へのルートは一体感のあるデザインとして仕掛けができると良い。
- ・ 「まちおこし」としてのアートではなく、まち全体からアートを応援するようなまちづくりを。
- ・ 全体の統一感が大事であり、いくつかの要素によりハーモニーするようなアートディレクションを。
- ・ 中村橋駅にきた人に、アートを感じさせる空間としたい。
- ・ 地域の若いアーティストが活動する場が見えるようにしたい。

《駅について》

- ・ 駅舎をアートに…
- ・ 美術を感じられる看板を…
- ・ アーティストによるデザインを…
- ・ 構内に絵画を飾り… など

《南口駅前広場について》

- ・ 改修してアートな広場に…
(美術の森緑地がアートになったように)
- ・ 生垣をモニュメントに…
- ・ 企画展映像等を映すスクリーンを… など

《商店街について》

- ・ 街路灯にラッピング、ペイントを…
- ・ 各店舗に絵を…
- ・ シャッターアートを… など

《周辺道路について》

- ・ カラー舗装を…
- ・ ポールや手すりをアートに…
- ・ 高架下にラッピング、ペイントを…
- ・ 北口側道のレールランプを活かす…
- ・ 映えスポットを… など

令和5年度 美術のまち部会の検討内容

👉 まちなみ整備の方針

将来像 まちのあちこちにアートなスポットがあふれている

駅を降りると、周辺には様々なアートな演出が施されている。また、美術館への動線やまちのあちこちには、アート作品が展示されている。美術館へ向かう人や、美術館でアートを楽しんだ人、このまちで生活している人、活動をしている人は「アートなまちにいる」ことを実感できる。

アートを感じられるまちなみ整備

美術館・図書館の設計者の監修のもと、まちと建物の装飾や整備などを一体的に行います。

